



堀秀彰(PIANO)



大塚義将(BASS)



吉良創太(DRUMS)



[ゲスト] 近藤和彦(ALTO SAX)

珠玉のスタンダードを、最高のメンバーと味わう贅沢。  
リーダー堀秀彰が信頼を寄せる仲間たちと、時代を超えて愛される名曲の数々をセッション。

サロンコンサートVOL.261

# 堀秀彰 Piano Trio +1

9月19日(金) OPEN 18:30 START 19:00

山武市成東文化会館のぎくプラザ

入場料：1,000円（全席自由席）

## 演奏予定曲

- ・ AUTUMN LEAVES(枯葉)
- ・ AUTUMN IN NEW YORK
- ・ OVER THE RAINBOW

※変更になる場合がございます。



お申込み・お問合せ

山武市成東文化会館のぎくプラザ（〒289-1324千葉県山武市殿台290-1）

☎0475-82-5222 e-mail n-bunka@city.sammu.lg.jp

<https://www.city.sammu.lg.jp/kyouiku/bunka-shisetsu/bunkakaikan/>



お互いの安全のため、ご来場の際にはマスクの着用を推奨します。

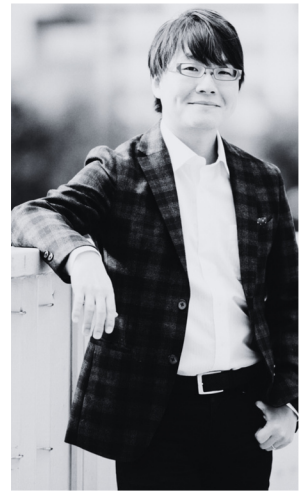
## 堀秀彰 - Hideaki Hori (piano)

ジャンルを超えて活躍するジャズピアニスト。今までに24枚のリーダーアルバムを発表し、参加アルバムは160枚を超える。著書に『親子で楽しむピアノ連弾コレクション"いっしょに弾こうよ"』『ジャズピアノがうまくなる理由・へたな理由』がある。

1978年12月8日千葉県出身。幼少よりエレクトーンなどの楽器に親しみ、高校時代でジャズに感動して本格的にピアノを始める。センスあふれるコードワーク、繊細でありながらも情熱的なプレイで、ベテランから若手にいたるまで大きな信頼を得ている。

Eddie Henderson、Gene Jackson、Max Ionata、Sheryl Bailey、Bob Kenmotsu、市原ひかり、井上陽介、大坂昌彦、谷口英治、土岐英史、原朋直、平賀マリカ、安カ川大樹、山口真文各氏をはじめ、国内外の著名アーティストとの共演歴も多い。ポップスフィールドでは、Dreams Come True・ParisMatch・SILVA・井手麻理子・DA PUMPなど、多くのアーティストのレコーディングやコンサートに参加。浜崎航とのカルテット"Encounter"では、アメリカの55th Monterey Jazz Festival・韓国天安Jazz Street 2024など数々の国内外のジャズフェスへの出演も果たした。

現在"Encounter"の他にも、堀秀彰トリオ、堀秀彰p&井上陽介b、DuoTremolo(堀秀彰p&馬場孝喜g)、奥平真吾"The New Force"、横田寛之"ゴウダヴ"、藤村麻紀"The DUO!!"、Tap danceとの"6ix 8ight"などを中心にジャズクラブやコンサート等で活躍中。



## 大塚義将 - Yoshimasa Otsuka (bass)

群馬県東吾妻町出身。15歳からベースを始める。18歳で専修大学進学のため上京。同大学のジャズサークルでジャズを学び、在学中から都内のライブハウスなどで演奏活動始める。

ベースをDavid Wong氏に師事。

2016年にSOMETHIN'COOLレーベルのコンピレーションCD『For Cool Cats Only Vol.2』に自己のトリオで参加。

2018年1月にJason Lee Bruns (ds) とのロサンゼルスツアーに参加。2018年4月に友金まゆみ (p) トリオのニューヨークレコーディングにCarl Allen (ds) と参加。同年11月にアルバム『New York Reunion』をTommy's Recordよりリリース。2020年1月に奥川一臣 (p) Gene Jackson (ds) とアルバム『Memorable Jazz Affairs』をdoLuck Jazzレーベルよりリリース。



## 吉良創太 - Sota Kira (drums)

高知県出身。東京音楽大学打楽器科を経て同大学院修士課程修了。

大学院在籍中に給費奨学生に選ばれる。

打楽器を菅原淳、岡田真理子、藤本隆文、明神あけみの各氏に師事。ドラムを岩瀬立飛、小松伸之、吉川英治の各氏に師事。

大学院在籍中に日本ジャズ界の巨匠、鈴木勲バンドへの加入で本格的なプロ活動を開始。

その後、山口真文(ts)、西尾健一(tp)をはじめ様々なバンド、ミュージシャンのもとで多くの経験を積む。近年の活動としては2019年よりマイルスデイビスとの共演で知られる世界的ピアニスト、ケイ赤城トリオに加入。2020年から大西順子トリオ、カルテット、sextet、the orchestraに参加する。STUTS band setのメンバーとしてフジロックやサマーソニックをはじめ大型フェスに出演。2023年には大西順子カルテットメンバーとしてインドネシアジャカルタでのJava Jazz2023、

韓国Jarasum Jazz Festitivalなど国際フェスに参加。

サイドワークとして打楽器アンサンブル集団DA.DA.DOUNを主宰。日野皓正presents jazz for kids 世田谷ドリームジャズバンドでドラム講師を担当。ドラムヘッドaspr(アサプラ)、シンバルブランドIstanbul agop cymbalsアーティスト。

ジャズシーンを軸に幅広く活動している。



## [ゲスト]

### 近藤和彦 - Kazuhiko Kondo (alto sax)

山梨県甲府市出身。大学在学中、山野ビッグバンドコンテストにて最優秀ソリスト賞を受賞。在学中よりプロとして活動を始め、宮間利之、松岡直也、高橋達也、菊池ひみこ、向井滋春、佐山雅弘、エリック・ミヤシロ、熱帯JAZZ楽団、小曽根真などのバンドに参加。

現在、自己のグループ、渡辺貞夫、守屋純子、Mark Tourianなどレギュラーバンドやセッションなどで国内外を問わず活動。Phil Woods、Dick Oattsに師事。昭和音楽大学ジャズコース講師。

2019年Gonzalo Rubalcaba(p) & Aymée Nuviola(vo) の公演に日本人で唯一参加しその時ライブレコーディングされたCD「Live At Blue Note Tokyo」が2021年第63回グラミー賞のノミネート作品となる。そのアルバムの中のソロがアメリカの第42回Annual Jazz Station Awards The Best Jazz of 2020のSopranoSax部門に個人的に選ばれる。

